

新年のごあいさつ



登別市議会議長
工藤 俱二雄

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年4月には、市議会議員の選挙が行われ、本市議会に新たな議員4名が加わり新体制となりました。今年は市制施行50周年を迎えますので、市議会においても議会基本条例の順守と、次の50年に向けたさらなる推進のため、市民と身近な『開かれた議会』の運営に努めるとともに、市民の皆さまの期待と信頼に応えられる議会となるよう、絶えず変化していく必要があると考えております。

そのためにも、二元代表制を再確認し、議会活動の充実と強化に努めるとともに、本市議会における『継続的な議会改革の推進』、『ペーパーレス化の推進』、『議会BCP（業務継続計画）の策定』の実現に向けて取り組んでまいります。

今後におきましても、市民の皆さまからのご意見などを十分お聞きして活発な議論を重ね、市議会の改革・活性化に取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せにみちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、令和初となる新春を晴々しい気持ちでお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

本年8月1日、登別市は市制施行50周年を迎えます。この大きな節目に向けて、市民の皆さまをはじめ多くの団体、事業者の方々と共にさまざまな準備を進めてまいりました。

これまでも、30周年、40周年といった節目をきっかけとして、多くの思いと共にまちづくりが加速し、今日の登別市が形作られています。

市制施行50周年では、多くの記念事業等を通して、まちを思う人と人とのつながりをより強固なものとし、10年後、20年後、さらにその先も魅力あふれるまちであり続けるきっかけとしていきたいと思っております。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催やウポポイの開設などを生かして、まちの魅力や資源を再確認し、多くの市民の皆さまのご参画のもと、年齢や職種などを超えたさまざまな世代が手を取り合いながら、まちづくりの楽しさを知り、市民活動や産業活動のさらなる活性化につなげ、本年を将来の登別市にとって記念すべき年としてまいりましょう。

結びに、本年が皆さまにとりましてより佳き年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。